



Nov 2025 Goi Gazette

IB English GOI

Mail: ibe-goi@ib-group.jp

T E L : 0436-22-0122



IBEGOI
LINE

No Gender in Harvest !

Lesson & Test schedule

No Gender in Harvest ! (実りにジェンダーはない!)

Autumn is harvest season. In the same way, our efforts bring results. Around the world, more women are becoming leaders in their communities.

秋は実りの季節。努力は花開く。世界は多くの女性がリーダーになっています。

Those women leaders worldwide share a strong will to learn and the courage to continually challenge.

Through effort, they've gained knowledge and experience, powerfully opening doors for others.

学び挑み続ける女性たち。努力で知識と経験を重ね、次の世代への扉を開く。

When Hillary Clinton lost the election, she said there was a "glass ceiling." But today, diversity education is growing worldwide. In Japan and around the world, students learn to respect others from a young age.
ヒラリー氏が語った壁を越え、今や学校でも多様性の教育が進んできている。

**中学英語教科書は「世界へのパスポート」！
英語を通して、社会・ジェンダー・多様性を学ぶ**

* 世界への一歩は中学教科書から

千葉県採用英語教科書「NEW HORIZON」は、国際社会・地理歴史・ジェンダー・福祉などを扱う、“世界を学ぶ総合教材”です。英検準2級～準1級レベルの長文や面接テーマ（自然科学・将来の夢・国際的価値観）にも高い親和性を持ち、高校・大学の推薦入試にも役立つ教材です。

* 英検面接・長文読解や入試との高い親和性

リーディング力：世界遺産・SDGs・科学技術等の文で長文に慣れる。

スピーキング力：意見や理由を述べる活動が多く、面接練習に直結。

リスニング力：ネイティブ音声と多国籍話者で、実際の国際場面に近い。

思考力：英語で社会課題を考え、論理的・多面的な視点を養う。

* 通常授業では学びきれないほど充実（興味のある方は教室でご覧ください）

📖 中学1年：世界とつながる最初の一歩

カナダ、ニュージーランド、イギリス、ハワイなど、多様な文化から、
「世界の文化や気候地理の違いを知り、共感する力」を育てる。

🌐 中学2年：社会とつながり、考える力を育てる。

旅行、食文化、仕事、デザイン、世界遺産、プレゼンなどを題材に、
「多様性を英語で表現して、学びを世界へつなぐ力」を養う。

🌐 中学3年：自分の言葉で世界へ発信する

防災、リーダーシップ、環境、国際協力、ディベートなど英語表現。

「世界と共に生きる力、世界で通用する英語運用力」を育てる。

※中学教科書は、インター生や高校生にも役立ち、英検準1級までの基礎力強化にも最適。この冬は、英検・入試対策に加え、中学英語を総復習して実りを育てましょう。No gender in harvest — 実りにジェンダーはありません。

努力を重ねた分だけ、誰にでも輝く季節（収穫・実り）が訪れます。

S	M	T	W	T	F	S
26	27	28	29	30	第3回英検 申込開始	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
第2回英検 2次試験	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

第3回英検受付開始：10月31日～

第2回英検2次試験：11月16日

30	第3回英検 Jr 申込開始	2	3	4	5	6
7	8	9	第3回英検 申込締切	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20

第3回英検 Jr 受付開始：12月1日～

第3回英検申込締め切り：12月10日

Kids Christmas Lesson 12月9日～

（通常レッスンに加えて Xmas アクティビティーが加わります。）

21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	1	2	3

通常レッスンは Winter Holiday ですが、英検対策・チケットレッスン・メイクアップレッスン等は開催。（冬季集中授業受け付け中！！）

Special Weeks 営業予定時間

12月20・21・27・28・30, 1月4日 9:30～21:30

12月23・24・26日 13:30～21:30

※予約状況によって開始時間と終了時間が
変更される場合もあります。ご了承ください。

第3回英検 Jr 受付締め切り：1月9日～（試験1月最終週）

第3回英検1次試験：1月24日

4	5	6	7	8	第3回英検 Jr 申込締切	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	第3回 24 英検開催

**No Gender in Growth — Your Strengths Define Your Path.
Learn Freely, Grow Boldly. Break the Glass Ceiling!**
誰にも限界はない。強みで輝き、自分の天井を越えよう。

男女で学び方が違って OK！

脳科学では、女性は言語や共感、感情表現のネットワークが発達し、男性は空間把握や集中持続に優れているとされています。心理学的にも、得意分野を活かした学びは脳を刺激し、意欲と記憶の定着を高めることが分かっています。

日本の教育は「平等」を重んじるあまり、同じ方法での努力を求めがちですが、誰もが同じやり方で伸びるわけではありません。むしろ、個性を尊重し合うことが、真の、**【きょういく；教育、共育（ともい）協育】**に、つながります。

- ・書くのが好きな人は、ノートが真っ黒になるまで書いてみましょう。
- ・話すのが好きな人は、セリフを覚えて演じるように話してみましょう。
- ・読むのが好きな人は、気になる本をとことん読んでみましょう。
- ・行動が好きな人は、見て・行って・感じることをためらわずに挑戦しましょう。

「できる」が「スペシャル」になるとき、それが専門になり、仕事にもつながります。性別にとらわれず、自分の得意を信じて伸ばしていきましょう。

大人は自分のことでは違いを受け入れられても、子どもの成長には、つい焦りを感じてしまうものです。けれど「好き」が「得意」に変わり、「自信」になり、「成功体験」から「自己肯定感」が育つ—それが世界中の先人たちが語ってきた成長の道です。子どもが得意をとことん伸ばし、不得意をも引き上げていけるよう、そんな懐の深い大人でありたいですね。



**★ “It’s Easy to Say No, But Growth Begins with Yes
— Saying Yes Takes More Courage.”**

「否定」より「肯定」が難しい？

最近、前面でも書きましたが、中学 2 年英語からプレゼンテーション（発表力）、ディベート（コミュニケーション力）が多くの学校で取り入れられています。テーマに対して「賛成（Yes）」と「反対（No）」に分かれて議論しますが、実は「反対側」の方が勢いづきやすく、雄弁になることが多いようです。「不愉快だ」「みんな嫌がつている」など、感情を使って相手を圧倒できるからです。一方、賛成側は「良いところ」を冷静に探し、言葉で伝える必要があり、これが意外と難しいのです。

子どもが成長の過程で「いやいや期」や「反抗期」を迎えるのも、まさにこの構図と似ています。言葉より先に感情が動き、ふくれっ面で不満をぶつけてしまう。でも、それは「冷静に言葉で伝える力」がまだ育っていないサインでもあります。

大人でも会社や地域社会や家庭で、怒りや不満が多い人は少なくありません。けれど、不満ばかりでは、その先の学びも成果も遠ざかってしまうものですね。

話を英語に戻して、

英検 2 次試験も、Yes/No 問題に、**笑顔で「Yes, because…」**と、理由を説明できる生徒の方が、明るく建設的な印象を与え、高評価につながります。

英検 2 次面接試験は、態度（attitude：アチチュード）点数もあります。

Nov. 16 — Eiken Test Takers, Say “Yes!” with a Big Smile!

ご家庭でも「Yes の理由を言葉で伝える」練習をしてみましょう。

「イヤだ」より「こうした方がいい」と言える力が、人生を豊かにします。

反対より肯定は難しい。でも、Yes の言葉には未来を動かす力があります。



**From Tradition to Transformation:
The Debate Over Coeducation**
伝統から変革へ、共学をめぐる議論。

News!

News!

少子化と多様化の中、伝統ある単性別校が共学化へ動く流れが世界で広がっています。日本でも同様の議論が進んでいます。

JP 埼玉県「男子校・女子校」存続めぐり議論

埼玉県では、公立高校の男女別学を見直し、共学化の提言が出されました。これに対し、「男子校・女子校の良さを残してほしい」という声も多く、署名運動も起きています。一方、少子化による再編が急務とされ、2026 年度以降に転換点を迎えるそうです。

us アメリカ・Albany Academy 200 年の伝統に転機

ニューヨーク州男子校「アルバニー・アカデミー」、2026～27 年度から完全共学化を発表。200 年以上の名門校で、入学希望者減少が背景。学校側は「性別にかかわらず学ぶ機会を広げたい」、伝統を誇る学校が、形を変える姿勢が注目されている。

au オーストラリア・Newington College 160 年男子校の挑戦

シドニーの名門男子校「ニューイントン・カレッジ」は、2026 年から女子を受け入れ、2033 年に共学化予定。伝統を重んじる反対意見もありますが、学校は「多様な視点を育むため」としています。

gb イギリス・Harrogate Ladies' College 女子校から共学へ

英国の名門女子校「ハロゲート・レディーズ・カレッジ」は、2026 年から男子を受け入れ、校名を「ダッチー・カレッジ」に変更予定。少子化や運営費増を背景に、「すべての子どもに開かれた学び」を掲げている。

**日本でも世界でも、男女の垣根を越えた学びが進んでいます。
伝統も変化も大切。だからこそ、全てが同じになるのではなく、
次の世代のために多様な選択肢も必要かもしれませんね。**

Message from the person in charge.

Her Gender, Her Power — Filipino Women Going Global
『女性だから世界に行ける?!』

今年、フィリピンのセブ島は地震と台風の被害を受け、多くの人々が苦しんでいます。心からお見舞い申し上げます。私は多くの国を訪れましたが、不思議とフィリピンには行ったことがありません。それでも、なぜか外国籍では、フィリピン人の知り合いが一番多く、災害などがあると真っ先に連絡を取り合うのもフィリピンの人たちです。

学生時代、アメリカのシェアハウスにいた 50 代のフィリピン女性は、いくつもの仕事を掛け持ちながらも、笑顔で私たちに手料理をふるまってくれました。母のような温かさを今も覚えています。

成田空港勤務時に日本語を教えていたのもフィリピン女性でした。また、福祉事業で海外からの人材採用をした際、ほとんどが家族を残して働きに来る彼女達は看護や調理を学び、資格を持ち、生きる力にあふれていました。また、中国本土、台湾、香港での英語幼児教育と baby-sitter もほとんどフィリピン女性たちでした。

日本も家庭科や保健体育の教科がありますが、受験に出ないため軽視されがちです。しかし、彼女達を見ていると、生活の知恵こそが、人を強くすることを実証してくれます。どの国でもフィリピン女性たちは明るく前向きで、Her Gender, Her Power — Filipino Women Going Global です。セブ復興を祈ります。— Koto